

参 考

○ 山口県におけるキノコによる食中毒の発生状況（下関市を含む。）

発生年月	喫食者数	患者数	死亡者数	キノコの種類（推定含む。）
平成20年10月	6人	6人	0人	クサウラベニタケ
平成12年10月	1人	1人	0人	オオシロカラカサタケ
平成10年10月	1人	1人	0人	テングタケ

○ オオシロカラカサタケ（ハラタケ科）

・分布

春から秋にかけて、芝生や草地などの地上に群生する。

・形態

傘：中～大型。幼菌時は半球形、のちやや中央を高くして平らに開く。表皮は帯褐色、中央部以外は成長につれて不規則に裂け、白い地肌の上に鱗片となって残る。

柄：長さ10～25cm、汚れた白色から灰褐色の繊維状で、基部は膨らむ。つばは厚く、柄の上部につき、動かすことができる。

ひだ：やや密で柄に隔生し、幼時は白色、成熟にしたがい緑色からオリーブ色になる。

肉：成熟すると汚れた白色の綿塊状になる。

・中毒症状

悪寒、頭痛、嘔吐、下痢など



【画像提供】広島市